

部局等名	推進計画	進捗状況等
先端科学研究部	<p>I 基本方針 熊本大学男女共同参画推進基本計画に掲げる事項の推進を図るために、次の基本方針を策定し、この基本方針に基づき、IIに掲げる具体的事項の遂行を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 男女の機会均等の実現</li> <li>2 男女共同参画を推進するための啓発活動</li> <li>3 その他</li> </ol> <p>II 基本方針の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 男女の機会均等の実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀な女性教員を採用する努力を行い、次の組織評価までに女性教員比率10%を目指す。また、引き続き、本学の育児・介護支援制度を推進するために、周知し利用を促す。</li> <li>・女性教員のいない講座においては、女性教員の採用を図る努力を要請する。</li> <li>・教員公募においては、男女共同参画推進に取り組んでいること（なお、詳細については、ホームページを参照）を明記する。</li> <li>・女性教員を採用した場合、学長の手持ちポストの配分を全学に要請する。</li> <li>・業績評価においては、男女共同参画に関わる項目を考慮する。例えば、出産、育児・介護等に従事したこと、男女共同参画に関わる取組への貢献など。</li> </ul> </li> <li>2 男女共同参画を推進するための啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性教員間のネットワークを形成する。</li> <li>・男女共同参画に関わる実態・要望を把握するために、女性教員と女性大学院生あるいは部局長を交えた昼食会や茶話会などの定期的懇談会を開催する。</li> <li>・FD活動として、女性研究者の特別講演会を年に1回以上開催する。</li> <li>・全学の男女共同参画推進関係のセミナーやシンポジウムへの教員の積極的な参加を要請する。</li> <li>・女子中高生の理系進路選択支援事業に係る活動を実施する。</li> </ul> </li> <li>3 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の項目については、熊本大学男女共同参画推進委員会の基本計画及び決事項に準拠し、先端科学研究部男女共同参画推進委員会で具体的な方策を講じる。</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 男女の機会均等の実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究部では、優秀な女性教員を採用する努力を行い、次の組織評価までに女性教員比率10%を目指している。この目標を達成するため、平成22年度に科学技術振興調整費（平成23年度より科学技術戦略推進費）・女性研究者養成システム加速「バッファリングによる女性研究者養成の加速」を申請し、採択されている。本事業の年度計画に基づき、職位を問わない女性限定の公募を実施し、次に示すように各年度において、女性教員の採用を推進している。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">平成22年度 助教2名採用 平成23年度 准教授2名、助教1名 平成24年度 准教授2名、助教2名 平成25年度 准教授1名 平成26年度 助教3名 平成27年度 准教授1名、助教1名</p> <p>平成29年4月1日現在において、女性教員数は20名（教授2名、准教授10名、助教8名）で、女性教員比率は10.3%となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員公募書類への本学男女共同参画での支援内容の明記 <ul style="list-style-type: none"> <li>○男女を問わず、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。</li> <li>○熊本大学は男女共同参画を推進しています。 (詳細はホームページをご覧ください。 <a href="http://gender.kumamoto-u.ac.jp/">http://gender.kumamoto-u.ac.jp/</a>) 選考にあたっては男女共同参画社会基本法の精神に則り、適正に行います。</li> </ul> </li> <li>・業績評価において男女共同参画に係る活動を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○第3期の個人評価で実施</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2 男女共同参画を推進するための啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性教員間のネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>○完了</li> </ul> </li> <li>・女性教員と女性大学院生(学部生の参加も可)との懇談会の開催(第8回より男子大学院生の参加OK) <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成21年度より開始： <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回Women in Science 平成21年 7月 1日</li> <li>第2回Women in Science 平成21年 9月29日</li> <li>第3回Women in Science 平成21年12月17日</li> <li>第4回Women in Science 平成22年 4月26日</li> <li>第5回Women in Science 平成22年 6月29日</li> <li>第6回Women in Science 平成23年 3月 1日</li> <li>第7回Women in Science 平成23年 5月13日</li> <li>第8回Women in Science 平成23年10月27日</li> <li>第9回Women in Science 平成24年 5月17日</li> <li>第10回Women in Science 平成24年12月26日</li> <li>第11回Women in Science 平成25年 7月12日</li> <li>第12回Women in Science 平成25年12月16日</li> <li>第13回Women in Science 平成26年 7月11日</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>

<p>先端科学研究部</p>		<p>第14回Women in Science 平成27年11月26日  第15回Women in Science 平成28年 2月26日 (さくらサイエンスプログラムと合同開催)  第16回Women in Science 平成29年 2月28日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学技術振興機構 (JST) 次世代人材育成事業への採択 <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成21～22年度 女子中高生の理系進路選択支援事業</li> <li>○平成25～27年度 女子中高生の理系進路選択支援プログラム</li> </ul> </li>   <li>・ 全学の男女共同参画推進関連のセミナーやシンポジウムへの教員の積極的な参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催案内の全教員への周知徹底</li> <li>○2008年2月13日 お茶の水女子大学で開催された“女性研究者支援モデル育成”事業等合同シンポジウム「～女性研究者等の活躍推進のために～」に参加し、「女性研究者支援モデル育成」事業の取組報告並びに情報収集及び意見交換を行った。(岸田光代准教授)</li> <li>○2009年7月23日 東北大学男女共同参画推進室責任者の田中真美教授と面会し情報収集及び意見交換を行った。(岸田光代准教授)</li> <li>○2009年11月7日 2009年日本化学会西日本大会における「第1回男女共同参画シンポジウム」へのパネリストとして参加および熊本大学男女共同参画に関するポスター発表(坂田眞砂代准教授)</li> <li>○2009年11月25日～26日 女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム「女性研究者支援の新時代を迎えて」に参加し情報収集及び意見交換を行った。(岸田光代准教授)</li> <li>○2010年10月5日～6日 京都大学で開催された女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム「未来を築く女性研究者の飛翔に向けて」に参加し、「バッファリングによる女性研究者養成の加速」のポスター発表並びに情報収集及び意見交換を行った。(檜山教授・岸田准教授)</li> <li>○2011年3月23日 在福岡米国領事館で働く3名の女性を招き、女性キャリア支援座談会「国際色豊かな職場、アメリカ領事館で働く女性達」を開催し、学生19名、教職員15名が参加した。</li> <li>○2011年10月12日 全学的な男女共同参画推進フォーラム・第24回熊大ビジネス講座「NO LIMIT TO YOUR POWER!」への教員へ(学生含)の積極的な参加依頼を行った。</li> <li>○2011年11月1日～2日 筑波大学で開催された女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウム「女子研究者支援に向けた持続可能な取り組みの実現～」に参加し、「バッファリングによる女性研究者養成の加速」のポスター発表並びに情報収集及び意見交換を行った。(西山研究科長・檜山教授・岸田准教授)</li> <li>○2012年2月18日 東北大学で開催された、女性研究者養成システム改革加速「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」シンポジウム2011—より大きなジャンプアップへ—に参加し、東北大学、北海道大学、東京農工大学、京都大学、九州大学の取組みに関する情報収集及び意見交換を行った。(高島和希教授、岸田光代教授)</li> <li>○2012年3月26日 大学院自然科学研究科と、男女共同参画推進室との共催により、文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者養成システム改革加速」「バッファリングによる女性研究者養成の加速」シンポジウムを、九州大学研究戦略企画室上瀧恵里子を演者に招き開催した。 また、バッファリングにより採用された新任女性研究者3名による、研究発表が行われた。 このシンポジウムには、学外者含む40名が参加した。</li> <li>○2012年10月10日 「バッファリングによる女性研究者養成の加速」事業第1回外部評価委員会を九州大学 上瀧恵里子准教授、東北大学 田中真美教授を学外委員として招聘し、実施した。</li> <li>○2013年2月23日</li> </ul> </li> </ul>
----------------	--	--

<p>先端科学研究部</p>		<p>福岡市で開催された「英語での効果的な研究プレゼンテーションのコツと技法ワークショップ」に学内公募を行い新規採用研究者1名を含む2名の女性教員を派遣した。</p> <p>○2013年3月13日 大学院自然科学研究科と、男女共同参画推進室との共催により、文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者養成システム改革加速」「バッファリングによる女性研究者養成の加速」シンポジウムを、東北大学 田中真美教授、株式会社東芝 イノベーション推進本部 参事 渡辺美代子を演者に招き開催した。</p> <p>○2013年11月11日 東京都で開催された女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウム「—世界で活躍できる理系女性研究者の育成—」に参加し、「バッファリングによる女性研究者養成の加速」および「女性研究者研究活動支援（拠点型）」のポスター発表並びに情報収集及び意見交換を行った。（岸田教授）</p> <p>○2014年1月28日 「バッファリングによる女性研究者養成の加速」事業 平成25年度外部評価委員会を九州大学 上瀧恵里子准教授を学外委員として招聘し、実施した。また、同日午後、大学院自然科学研究科と、男女共同参画推進室との共催により、文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者養成システム改革加速」「バッファリングによる女性研究者養成の加速」シンポジウムを、神戸大学 男女共同参画推進室長 坂本 千代を演者に招き開催した。</p> <p>○2014年11月26日 東京都で開催された女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウム「—女性研究者支援とダイバーシティ・マネジメント—」に参加し、「バッファリングによる女性研究者養成の加速」および「女性研究者研究活動支援（拠点型）」のポスター発表並びに情報収集及び意見交換を行った。（岸田教授、研究科長）</p> <p>○2014年12月25日 「バッファリングによる女性研究者養成の加速」事業 平成26年度外部評価委員会を、東北大学 田中真美教授と、九州大学 上瀧恵里子准教授を学外委員として招聘し、実施した。</p> <p>○2015年1月26日 大学院自然科学研究科と、男女共同参画推進室との共催により、文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者養成システム改革加速」「バッファリングによる女性研究者養成の加速」総括シンポジウムを開催した。 講演者に北海道大学副学長 男女共同参画推進室長 望月恒子氏と、日本大学歯学部 佐藤恵専任講師を招き、また、加速事業実施5大学（北海道大、東北大、広島大、九州大、熊本大）代表者により総合討論実施した。</p> <p>○2015年2月27日 「バッファリングによる女性研究者養成の加速」事業の取組の一環として、自然科学研究者女性研究者を対象に、スキルアップセミナー開催について～e-Learning の活用の勧め～を実施し、女性研究者3名の参加があった。</p> <p>○2015年9月29日 熊本大学男女共同参画推進フォーラム（工学部百周年記念館）へ、自然科学研究科から多数の教員が参加した。</p> <p>○2016年1月29日 熊本大学男女共同参画推進フォーラム 熊本大学男女共同参画トップセミナー（くすの木会館 レセプションルーム）への参加。</p> <p>○2017年3月13日 熊本大学男女共同参画推進フォーラム 熊本大学男女共同参画トップセミナー（くすの木会館 レセプションルーム）への参加。</p> <p>・FD講演会の開催 ○2017年3月7日 「女性研究者とワークライフバランス—女性教員による講演会—」を工学部2号館221教室で開催した。子育て中の女性教員がどのようにして仕事・育児・家事を両立させているかについて、本学女性教員2名が講演した。</p>
----------------	--	--

		<ul style="list-style-type: none"><li>・女子高校生の理系進路選択支援事業の実施<ul style="list-style-type: none"><li>○2016年8月6日 オープンキャンパス時に、工学部2号館および理学部2号館で、現役の理工学系女子大学生と大学院生がアドバイザーとなり、女子高校生のための進路相談会を実施した。また、説明会後に女子大学院生によるリケジョ応援ミニ講演会を開催した。</li> <li>○2016年11月3日 中高生と理系の女性ロールモデルとの出会いの場を提供し、理工系への進路選択のきっかけを作る目的で、「輝く理系女子キャリアパス－理工系卒業生による講演会－」を理学部3号館D201号室で開催した。当日は、本学卒業生3名および現役学生3名が講演を行った。</li></ul></li></ul>
--	--	---